

〔三國志魏三十〕今西域舊圖云、中略大秦多、中略絳地金織帳五色斗帳、

〔運歩色葉集登〕斗帳

〔塵添壙囊抄十一〕斗帳事

靈驗所等本尊奉籠御帳斗帳云フハ、何ナル心ゾ、和名類聚鈔、小帳曰斗、俗云斗帳云、屏風帳、如形覆小帳ナラネドモ、スガタ方ナルニ付テノキナドヲバ同ク斗帳ト云歟、

〔真俗佛事編二〕斗帳

陀羅尼集經第三般若軌ニ、廿一種ノ供養物ヲ說中ニ、第七ニハ寶帳ト云ヘル、卽是ナリ、又七俱胝準提陀羅尼經曰、將像於精室、道場秘密供養、以帛覆像、念誦時去覆帛、斗帳瞻禮供養、念誦畢却以帛覆、慎勿令人見、今世靈像ヲ秘佛トスル本說ナリ又虛空藏求聞持法、畫像安置ノ法ヲ說テ、淨物覆之ト云ヘ

ルモ、亦此寶帳ノ出處ナリ、

〔易林本節用集登〕斗帳神前斗

〔和漢三才圖會三十二〕斗帳家飾具

釋名云、帳張也、施張於床上也、小帳曰斗帳、又云形如覆斗、物原云、軒轅作帷帳、

按、佛龕之帳、凡曰斗帳、常用所以避不淨、或時開帳、使人直拜之、

〔倭訓栞中編十六〕とちやう 斗帳と書リ、海錄に斗帳は小帳なりとみゆ、和名抄に出たり、屏幔も

同じ、事林廣記に帳曰斗兒とも見ゆ、紙帳は器服箋に見え、緞帳は絹帳也といへり、

〔類聚名物考調度一〕斗帳 戸帳

今神佛の前のを、戸帳といふは此斗帳歟、

〔鹽尻四十七〕一佛前の戸帳は、海祿醉等に斗帳の字あり、小帳也、形如覆斗といへば、斗帳といふべし、